

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2024年度達成度評価表 分野：大学運営

		評価	理 由
中期目標	学長のリーダーシップの下で、効率的で機動的な大学運営を行います。		
中期計画	1 内部質保証システムの機能的有効性の向上	B	2024年度に受審した機関別認証評価において、前回（2017年度）受審時は改善勧告を含む提言が10件あったが、今回は提言（改善課題）1件のみになったことは、大学全体の取組における大きな成果といえる。また、各部局と連携しながら、単位制度の実質化の措置、必要専任教員数の確認、指導補助者への研修の確認、SDの確認等定期的に毎年度大学全体で確認する仕組みを構築することができた点は評価できる。なお、一部の部局において、「定期的な自己点検評価によるPDCAの実施」に明記すべき事項が記載されておらず、所管業務全体及び部署目標全般によるPDCAが確認できない。また、部局ごとに情報共有の程度や進捗状況が異なるなどの問題があるため、学内で一層の質保証への意識の醸成を行うための仕組みづくりなどの改善が必要である。機関別認証評価受審により明らかになった本学の課題・問題点の改善に向けた取り組みを、適切かつ継続的に行うことが望まれる。
中期計画	2 効率的な組織運営	B	各学部・研究科において、教員組織の編制方針に基づき、昇任・採用等が実施できしており、また必要に応じた見直しもできている。今後も、教員組織・事務組織ともに適切性の検証を行い、最適化を図ることが望まれる。特に、事務組織においては、改編及び人員配置には制限があるものの、大学、法人の将来を見据えた事務組織の再編も視野に入れて、2025年度以降も効率的で機動的な大学運営を実現するための検討が継続されることを期待する。学務系業務端末等の情報環境整備については、事務業務DX推進プロジェクトにて、事務端末環境更新に関する検討を行った。事務端末のノートPCへの移行や、導入に向けて複数社見積もり取得を行うなど、具体的にプロジェクトを推進できている点は評価できる。今後も、引き続き情報環境の整備が行われることを期待する。

中期計画	3 戦略的広報活動の推進	A	ホームページ、電車内額面ポスター、広告ギャラリー、學報.netやクロスメディア広告で、学生の活躍や教員の教育・研究内容を紹介し、本学での学びや教員の活動などを広く発信することができた。加えて、SNSやWeb広告を活用することで、ホームページでは紹介しきれなかった情報をタイムリーに発信できた。2025年度以降、車内額面ポスターや新聞広告、SNSなどからホームページへの誘導を図る等、メディア間のリレーションを強化し、情報発信の推進が期待される。学生募集力強化のための募集広報の推進については、志願者数の増加に向け、オープンキャンパスのプログラムの見直しを図り、ターゲットの絞り込みや広報方法を工夫することで、本学のアピールにつなげることができた。結果として、オープンキャンパス、入学試験志願者数ともに昨年度を上回る数字となったことは評価できる。今後も、より一層、受験生確保やブランド力向上に向けた取り組みの推進が望まれる。
中期計画	4 SDの推進	A	「神戸学院大学におけるスタッフ・ディベロップメント（SD）実施に関する基本方針」に基づき、計画的にSD活動（研修）を実施できている。大学全体のSD実施計画策定、前年度のSD実施効果検証も問題なく進められており、評価できる。また、ティーチング・アシスタントのSD参加に伴う報酬を時間給で支払うよう取り扱いを定め、以前よりも幅広い層にSDが実施できるよう、制度を整えることができた。今後は、SDの意義や必要性について、全学部・研究科・部署において理解を深めるとともに、学内周知を徹底し、より効果的なSDを実施していくことが望まれる。

中期計画	5 男女共同参画の推進	B	第2次男女共同参画推進計画（2023-2027）に基づく男女共同参画の推進に向けて、全学的に環境整備を着実に進めることができている。男女共同参画ニュースを通じて、学内外に活動を定期的に公表できている点は評価できる。女性教員比率、女性上位職比率、女性管理職比率の向上に向けて、各学部・研究科・センター・部署で目標を設定して努力を重ねているが、一部目標に届いていない部局があり、さらなる努力が望まれる。学内の啓発活動は、男女共同参画推進室を中心に、学長カフェやジェンダー卒論発表会等、多岐にわたるイベントの実施、男女共同参画ニュースの発行、ホームページの活用等により、活発に実施している点は評価できる。種々の活動を通じて、大学全体での男女共同参画推進に対する関心が高くなっており、今後も、生活環境の変化に応じた男女共同参画推進事業のあり方について検討を重ね、誰もが学びやすく働きやすい環境の整備を一層進めることを期待する。
中期計画	6 安全で快適なキャンパス環境の整備	B	全学的に実施している学生アンケートを通じた学生の意見に基づき、トイレやグラウンド等の学内施設・設備の改修を行い、学内環境の整備を進めることができている。有瀬キャンパス1号館の建設については、各種会議の審議を経て、2026年4月供用開始を目標として建設工事を開始することができた。安心・安全なキャンパス環境の整備のために、防火・防災にかかる諸訓練や意識啓発活動も継続して実施しており、訓練の内容についても、より実践的となるような工夫ができている。今後も、学生及び教職員にとって、より安全で快適なキャンパス環境になるよう整備を推進することが望まれる。

	中期計画	7 教育後援会・同窓会との連携推進	B	教育後援会・同窓会ともに積極的な情報共有や意見交換により、連携強化を図ることができている。教育後援会においては保護者ポータルの活用やWebフォームによる大学見学会のアンケート実施、同窓会においては「産業界等連携講義」や「OB・OGキャリアデザイン塾」等への学生の参加等により、継続的な連携ができおり、評価できる。また、学長・副学長等と同窓会との懇談会を開催し、より良い事業活動の展開に向けて、有意義な議論ができている。今後も、教育後援会・同窓会との互助関係を強化し、それぞれのニーズに応じた活動の充実や活性化を期待する。
--	------	-------------------	---	---

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る